

平成 26 年度第 1 回福岡県立公文書館運営専門協議会
平成 26 年度第 1 回福岡県市町村公文書館運営専門協議会

平成 26 年 7 月 17 日（木）午後 2 時～
福岡共同公文書館 2 階会議室

次 第

1 開会

2 議事

(1) 平成 25 年度事業報告及び決算について

(2) 平成 26 年度事業計画及び予算について

(3) その他

3 その他

4 閉会

福岡共同公文書館運営専門協議会委員

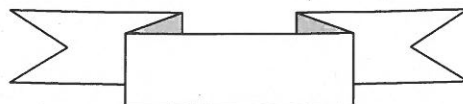
氏 名	現 職 名
おおはま てつや 大濱 徹也	筑波大学名誉教授 独立行政法人 国立公文書館 フェロー
いしたき とよみ 石瀧 豊美	イシタキ人権学研究所長 福岡地方史研究会会長
おりた えつろう 折田 悦郎	九州大学 大学文書館教授 九州大学史資料室長
わたなべ ゆきこ 渡邊 由紀子	九州大学附属図書館・大学院統合新領域学府 ライブラリーサイエンス専攻准教授
いのうえ まゆみ 井上 真由美	(株) 西日本新聞社編集局 生活特報部 編集委員

平成 26 年度第 1 回

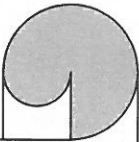
福岡共同公文書館

運営専門協議会資料

福岡共同公文書館



<平成 26 年 7 月 17 日>



目 次

- I 平成 25 年度福岡共同公文書館事業報告 1 ～ 8
- II 平成 25 年度福岡共同公文書館事業取組経過 . . 9 ～ 12
- III 平成 25 年度決算 13
- IV 平成 26 年度福岡共同公文書館事業計画 14 ～ 18
- V 平成 26 年度予算 19

I 平成 25 年度福岡共同公文書館事業報告

1 受入・整理・保存事業

(1) 受入文書数（単位：冊）（平成 26 年 3 月 31 日現在）

ア 県文書

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書（長期）	11,097	6,681	0	4,416
歴史公文書（有期）	12,888	1,510	0	11,378
行政資料	17,346	0	0	17,346
合 計	41,331	8,191	0	33,140

イ 市町村文書

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書（長期）	13,832	214	1,445	12,173
歴史公文書（有期）	11,370	2,913	2,045	6,412
行政資料	1,158	0	0	1,158
合 計	26,360	3,127	3,490	19,743

ウ 総計

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書（長期）	24,929	6,897	1,445	16,589
歴史公文書（有期）	24,258	4,421	2,045	17,790
行政資料	18,504	0	0	18,504
合 計	67,691	11,318	3,490	52,883

(2) マイクロフィルム化

○ 県文書及び市町村文書のうち、青焼き紙等のため文字が消えかかっているものについて、マイクロフィルム撮影と複製フィルムの作成を行った。

年度	県文書	市町村文書	計
25	92 冊	145 冊	237 冊

(3) 文書移管状況

ア 県

4 機関（13 機関中）

イ 市町村

56 団体（58 団体中）

2 利用に関する事業

(1) 閲覧利用事業

ア 来館状況（平成26年3月31日現在）

年 月	開館日数 (日)	来館者数 (人)	来館者数平均 (人/日)	利用者数 (人)	
				展示室	閲覧室
平成25年 4月	24	62	3	56	28
平成25年 5月	23	80	3	61	50
平成25年 6月	26	189	7	160	157
平成25年 7月	25	483	19	480	171
平成25年 8月	27	349	13	339	161
平成25年 9月	23	348	15	293	81
平成25年 10月	26	227	9	154	146
平成25年 11月	23	171	7	159	129
平成25年 12月	22	92	4	83	72
平成26年 1月	22	270	12	225	205
平成26年 2月	23	250	11	163	109
平成26年 3月	25	228	9	149	94
合計 (平均)	289	2,749	(10)	2,322	1,403

イ 特定歴史公文書利用状況（平成26年3月31日現在）

年 月	利用請求										行政利用				合計			
	県				市町村				うち自治体 間利用		県		市町村		県		市町村	
	一般請求		簡易閲覧		一般請求		簡易閲覧		件数	冊	件数	冊	件数	冊	件数	冊	件数	冊
	件数	冊	件数	冊	件数	冊	件数	冊										
平成25年 4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16	0	0	1	16
平成25年 5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	31	0	0	3	31
平成25年 6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	1	6
平成25年 7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	6	1	3	1	6
平成25年 8月	0	0	0	0	1	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	33
平成25年 9月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	2
平成25年 10月	2	7	0	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	2	7
平成25年 11月	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	3	10
平成25年 12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	41	0	0	2	41
平成26年 1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	220	0	0	3	220
平成26年 2月	3	36	3	33	2	19	0	0	0	0	0	0	3	117	6	69	5	136
平成26年 3月	2	23	2	22	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	4	45	1	6
合計	8	67	5	55	7	73	0	0	0	0	1	3	17	441	14	125	24	514

ウ 研修室・会議室利用状況（平成26年3月31日現在）

年 月	研修室（件）					会議室（件）				
	一般 利用	視察 対応	自主 事業	その 他	合計	一般 利用	視察 対応	自主 事業	その 他	合計
平成25年 4月	0	0	0	0	0	1	3	1	0	5
平成25年 5月	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
平成25年 6月	1	3	0	0	4	1	3	1	0	5
平成25年 7月	0	1	1	0	2	0	3	1	0	4
平成25年 8月	0	2	1	0	3	0	1	1	0	2
平成25年 9月	1	0	1	0	2	0	1	1	0	2
平成25年 10月	1	2	0	0	3	2	6	1	0	9
平成25年 11月	1	2	0	0	3	0	2	0	0	2
平成25年 12月	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
平成26年 1月	0	1	2	0	3	1	5	2	0	8
平成26年 2月	1	2	2	0	5	1	2	1	0	4
平成26年 3月	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
合計	6	14	7	0	27	7	30	9	0	46

エ レファレンスの状況（平成26年3月31日現在）

年 月	利用手段			合計 (A) + (B) + (C)
	来館 (A)	電話 (B)	電子メール等 (C)	
平成25年 4月	5	4	1	10
平成25年 5月	3	3	1	7
平成25年 6月	5	2	0	7
平成25年 7月	3	0	0	3
平成25年 8月	3	1	0	4
平成25年 9月	6	1	0	7
平成25年 10月	3	5	2	10
平成25年 11月	2	2	0	4
平成25年 12月	1	0	0	1
平成26年 1月	6	6	1	13
平成26年 2月	4	3	2	9
平成26年 3月	1	4	0	5
合計	42	31	7	80

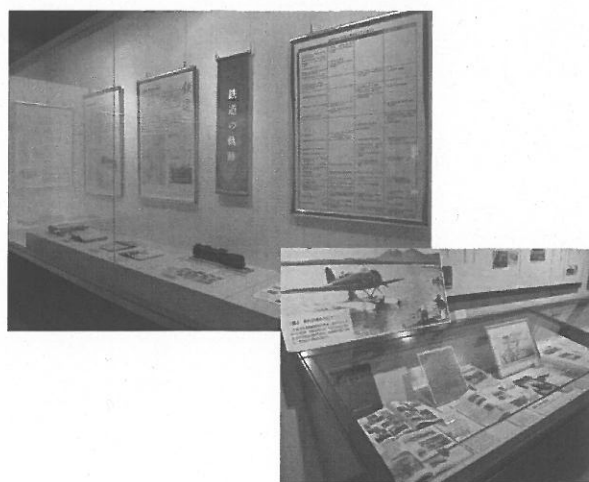
(2) 常設展・企画展の開催

ア 当館1階展示室では以下のとおり、様々なテーマを取上げ、展示会を開催した。

種 別	タイトル	期 間	観覧者数
常設展	公文書にみる福岡 140 年のあゆみ ～福岡県の成立と市町村合併～	平成 25 年 4 月 1 日～6 月 23 日 (平成 24 年度は企画展として開催 平成 24 年 11 月 18 日～平成 25 年 3 月 31 日)	277 名 (計 991 名)
企画展	福岡県の石炭産業～山本作兵衛作品 とともに～	平成 25 年 7 月 2 日～9 月 29 日	1,112 名
常設展	公文書にみる福岡 140 年のあゆみ ～福岡県の成立と市町村合併～	平成 25 年 10 月 8 日～12 月 23 日	396 名
企画展	時代とともに発展した福岡県の交通 ～鉄道軌跡を中心に～	平成 26 年 1 月 7 日～3 月 23 日	537 名



▲第2回企画展



▲第3回企画展

イ 講演会

第2回企画展と関連して、石炭産業の歴史と当時の取組についての講演会を開催した。

テーマ：「産炭地筑豊～近代化の諸相」

開催日：平成25年7月27日（土）

時 間：14時00分～16時00分

講 師：田川市石炭・歴史博物館

館長 安蘇 龍生 氏

参加者：66名（定員80名）



ウ 公開講座

平成25年度は以下の講座を開催した。

① 石炭が織成す歴史～福岡県の近代～

講演会と同様に、企画展と関連して、近代を中心に、県内の石炭産業の歴史に触れました。

開催日：平成25年9月7日（土）

時 間：14時00分～15時45分

講 師：九州歴史資料館

主任技師（学芸員） 渡部 邦昭 氏

受講者：32名（定員80名）



② 探ろう！学ぼう！おもしろ公文書館探検隊！

当館を見学後、公文書館の紹介をテーマとした新聞を作成し、当館に掲示した。

（当館展示期間：～12月28日まで）

開催日：平成25年8月21日（水）

時 間：10時00分～12時10分

講 師：当館職員（堤 エリ・杉谷 紋羽・障子 復美）

受講者：筑紫野市立二日市小学校

家庭教育学級「つどい」（59名）



③ 和綴じ講座

和綴じの歴史に触れ、オリジナルの和綴じ本を作った。

開催日：平成26年2月15日（土）

時 間：10時00分～16時00分

講 師：学校法人 九州学園 福岡女子短期大学

准教授 倉本 優子 氏

受講者：10名



④ 公文書館講座

当館の設立に向けた取組や業務内容を紹介し、普段見ることができない文書保存庫や選別室等の見学を行った。

開催日：平成 26 年 2 月 19 日（水）

時 間：14 時 00 分～15 時 45 分

講 師：当館 副館長 佐藤 史文

受講者：10 名



エ 研修会

市町村文書事務担当課長会議を独立行政法人 国立公文書館と共催で行い、公文書管理制度の概要や国立公文書館の取組に関する研修を行った。

テーマ：「国立公文書館の取組について（公文書管理制度を踏まえて）」

開催日：平成 26 年 1 月 29 日（水）

時 間：14 時 05 分～15 時 20 分（会議全体としては、14 時 00 分～16 時 20 分）

講 師：独立行政法人 国立公文書館 統括公文書専門官室

首席公文書専門官 石井 照夫 氏

参加者：60 名

オ 広報

年報第 1 号（6 月）及び福岡共同公文書館だより第 2 号（9 月）、第 3 号（12 月）、第 4 号（3 月）を発行しました。また、企画展開催の時期には、新聞（西日本新聞）への掲載、地上波放送局（7 月 RKB「今日感テレビ お知らせ伝言板」・1 月 FBS「福岡新発見」）、ケーブルテレビを通じて広報活動を行った。

カ 視察・見学の受入状況（平成26年3月31日現在）

年 月	件数	人数
平成25年 4月	3	3
平成25年 5月	3	18
平成25年 6月	5	108
平成25年 7月	5	59
平成25年 8月	5	79
平成25年 9月	2	4
平成25年 10月	8	104
平成25年 11月	4	47
平成25年 12月	2	33
平成26年 1月	8	44
平成26年 2月	4	27
平成26年 3月	2	22
合 計	51	548

区 分	件数	人数
県内自治体職員	13	131
行政職員	12	130
公文書館関係者	0	0
その他	1	1
国・県外自治体職員	13	126
行政職員	9	42
公文書館関係者	4	84
議会関係者	5	45
教育・学校等関係者	13	160
図書館関係者	1	3
学校関係者	12	157
区長等行政関係団体	0	0
その他	7	86
合 計	51	548

3 平成25年度の新規事業

ア デジタル化事業

平成25年度から、特定歴史公文書のうち、利用が見込まれるもので、ホームページで公開できるものを対象としてデジタル化を進め、利用者の利便性の向上と特定歴史公文書の普及の促進を図ることとした。

平成25年度実績

フォーマット形式	JPEG、TIFF
コマ数	約 44,000 コマ

イ 製本補修

平成24年度に移管された特定歴史公文書のうち、保存状態が良くなかったため、表紙や綴じ紐が外れかかっているもの及び虫食い状況や破損状況等にあるものを対象として、製本補修を実施した。

平成25年度実績

項 目	簿冊	文書数
裏打ち	7 冊	933 枚
リーフキャストイング	6 冊	569 枚
合 計	13 冊	1,502 枚

Ⅱ 平成 25 年度福岡共同公文書館事業取組経過

1-1 市町村の文書移管に関する取組経過（平成 26 年 3 月 31 日現在）

年月日	事 項	内 容
H25. 4. 23	第 1 回選別会議	○直方市、飯塚市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 5. 8	第 2 回選別会議	○大牟田市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 5. 14	歴史公文書の受入	○芦屋町の歴史公文書を受入
H25. 5. 28	第 3 回選別会議	○飯塚市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 5. 29	歴史公文書の受入	○春日市の歴史公文書を受入
H25. 5. 31	歴史公文書の受入	○久山町の歴史公文書を受入
H25. 6. 7 6. 13	第 4 回選別会議	○飯塚市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 6. 25	第 5 回選別会議	○川崎町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 7. 2	第 6 回選別会議	○東峰村、新宮町、大刀洗町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 8. 7	歴史公文書の受入	○久山町の歴史公文書を受入
H25. 8. 8	歴史公文書の受入	○大野城市の歴史公文書を受入
H25. 8. 22	公文書の評価選別 (春日市)	○昭和 58 年度完結の永年保存文書の現地選別を実施
H25. 8. 9	歴史公文書の受入	○筑紫野市の歴史公文書を受入
H25. 8. 19	歴史公文書の受入	○須恵町の歴史公文書を受入
H25. 8. 20 8. 29	第 7 回選別会議	○飯塚市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 8. 23	歴史公文書の受入	○久留米市、大川市、小郡市、うきは市、みやま市の歴史公文書を受入
H25. 8. 27	歴史公文書の受入	○中間市、古賀市、宮若市、水巻町、小竹町の歴史公文書を受入
H25. 8. 30	歴史公文書の受入	○太宰府市の歴史公文書を受入
H25. 9. 9	第 8 回選別会議	○朝倉市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 9. 13	歴史公文書の受入	○筑後市の歴史公文書を受入
H25. 10. 17	歴史公文書の受入	○筑前町の歴史公文書を受入
H25. 10. 18	歴史公文書の受入	○行橋市、みやこ町、築上町、上毛町、添田町の歴史公文書を受入

H25. 10. 18	第 9 回選別会議	○みやこ町、糸島市、宇美町、香春町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 10. 22	第 10 回選別会議	○芦屋町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 10. 29	第 11 回選別会議	○春日市、久山町、大野城市、筑紫野市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 11. 19	第 12 回選別会議	○芦屋町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H25. 11. 27	歴史公文書の受入	○宇美町の歴史公文書を受入
H25. 11. 28	歴史公文書の受入	○糸島市、福津市、宗像市、遠賀町、岡垣町の歴史公文書を受入
H25. 12. 4	歴史公文書の受入	○那珂川町の歴史公文書を受入
H25. 12. 13	歴史公文書の受入	○柳川市の歴史公文書を受入
H25. 12. 17	歴史公文書の受入	○吉富町の歴史公文書を受入
H25. 12. 20	歴史公文書の受入	○筑紫野市の歴史公文書を受入
H25. 12. 27	第 13 回選別会議	○須恵町、小郡市、うきは市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 1. 10	第 14 回選別会議	○大川市、小竹町、水巻町、中間市、太宰府市、上毛町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 1. 17	第 15 回選別会議	○久留米市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 1. 29	歴史公文書の受入	○川崎町、八女市、香春町、大刀洗町、大木町、荻田町の歴史公文書を受入
H26. 2. 6	第 16 回選別会議	○行橋市、みやま市、添田町、みやこ町、築上町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 2. 10	第 17 回選別会議	○古賀市、筑後市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 2. 28	歴史公文書の受入	○朝倉市、柳川市、嘉麻市の歴史公文書を受入
H26. 3. 6	第 18 回選別会議	○福津市、宮若市、遠賀町、筑前町、吉富町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 3. 11	第 19 回選別会議	○宇美町、糸島市、大刀洗町、宗像市、柳川市、川崎町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 3. 14	歴史公文書の受入	○糸田町の歴史公文書を受入

H26. 3. 20	第 20 回選別会議	○岡垣町、那珂川町、大木町、荏田町、香春町、八女市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 3. 27	歴史公文書の受入	○豊前市、赤村の歴史公文書を受入
H26. 3. 31	歴史公文書の受入	○大任町の歴史公文書を受入

1-2 県の文書移管に関する取組経過（平成 26 年 3 月 31 日現在）

年月日	事項	内容
H25. 6. 20	歴史公文書の移管作業（箱詰め）	○県庁にて歴史公文書等の箱詰め作業を実施
H25. 6. 20	歴史公文書の受入	○歴史公文書等を受入
H25. 5. 28 6. 21	公文書の評価選別（目録選別）	○平成 24 年度末保存期間満了文書について、県知事部局各課が作成した「廃棄／歴史情報一覧表」により評価選別を実施（目録選別）
H25. 9. 27 (10. 3)	歴史公文書の移管作業（箱詰め）	○県庁にて、保護・援護課分の文書について、公文書館へ搬送のため箱詰め作業を実施
H25. 10. 17	歴史公文書の受入	○歴史公文書を受入
H25. 11. 12 11. 14 11. 20 12. 3	歴史公文書の移管作業（箱詰め）	○昭和 56 年度以前完結分の歴史公文書について、公文書館へ搬送のため箱詰め作業を実施
H25. 12. 3 12. 11 (6 日間)	公文書の現地選別	○県庁にて平成 24 年度末保存期間満了文書について、評価選別を実施（現物選別）
H25. 12. 12 12. 17	歴史公文書の受入	○歴史公文書を受入
H25. 12. 19	選別会議	○平成 24 年度末保存期間満了文書について、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 2. 18	歴史公文書の移管作業（箱詰め）	○平成 24 年度末保存期間満了文書について、公文書館へ搬送のため箱詰め作業を実施
H26. 2. 27	歴史公文書の受入	○歴史公文書を受入

2-1 市町村への支援実績（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	H21～24 年度※	H25 年度	計
市町村職員説明会	25	1	26
歴史公文書の評価選別（目録選別）	11	8	19
歴史公文書の評価選別（現物選別）	108	1	109
有期限保存文書	65	0	65
永年・長期保存文書	43	1	44

※H21 年度～23 年度については行政経営企画課公文書館グループによる支援実績

※目録選別については、平成 24 年度のみの支援実績

2-2 県への支援実績（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	H25 年度
県職員説明会（新規採用職員研修）	1 回
歴史公文書の評価選別（目録選別）	87 課（所）
歴史公文書の評価選別（現地選別）	1,483 冊
歴史公文書の搬出支援	延べ 34 人日

3 文書移管時期（平成 26 年 3 月 31 日現在）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市町村数	0	3	0	0	14	1	6	6	4	6	2	4	46
県	0	0	2	0	0	0	3	0	1	0	6	0	12

※ 複数回に渡って移管した市町村は、初回のみカウントした。

※ 県については、引渡し通知の回数をカウントした。

Ⅲ 平成25年度決算

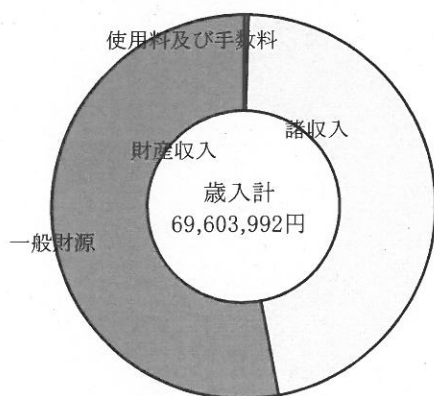
平成25年度歳入

平成25年度歳入						
款	項目節	節名	内容	予算額 (補正後)	決算額 (%)	差 額
08使用料 及び 手数料	1-1-1	行政財産使用料	筑紫野市下水道管渠、自販機設置料	182,000	186,112	-4,112
	1-1-2	公文書館使用料	会議室・研修室使用料	23,000	36,460	-13,460
	使用料及び手数料計			205,000	222,572 (0.3%)	-17,572
10財産 収入	1-1-2	土地貸付料	筑紫野市下水道管渠	26,000	10,920 (0.0%)	15,080
14諸収入	8-2-2	雇用保険料納付金		74,000	64,588	9,412
	8-2-7	福岡県自治振興組合負担金	市町村公文書館分負担金	33,367,000	32,397,379	969,621
	8-2-51	雑入	公文書の複写料金	2,000	25,714	-23,714
	諸収入計			33,443,000	32,487,681 (46.7%)	955,319
一般財源				38,035,000	36,882,819 (53.0%)	1,152,181
歳入合計				71,709,000	69,603,992 (100.0%)	2,105,008

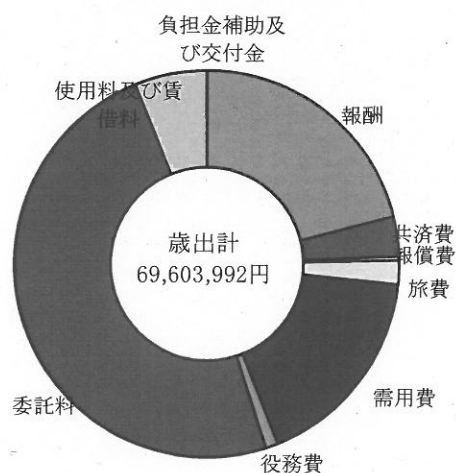
平成25年度歳出

款項目	節	節名	内容	予算額 (補正後)	決算額 (%)	執行残額
02総務費 01総務 管理費 04文書費	1	報酬	嘱託職員報酬等	14,768,000	14,657,572 (21.1%)	110,428
	4	共済費	嘱託職員保険料	2,331,000	2,330,050 (3.3%)	950
	8	報償費	講師謝礼等	239,000	215,500 (0.3%)	23,500
	9	旅費	アーカイブズ研修、市町村支援等	1,702,000	1,387,020 (2.0%)	314,980
	11	需用費	光熱水費、消耗品費、印刷製本費等	12,566,000	12,023,901 (17.3%)	542,099
	12	役務費	通信料、建物保険料等	731,000	722,434 (1.0%)	8,566
	13	委託料	文書運搬、製本修復、施設管理費	35,094,000	34,009,465 (48.9%)	1,084,535
	14	使用料及び賃借料	資料検索システムリース、諸機器リース等	4,225,000	4,216,050 (6.1%)	8,950
	19	負担金補助及び交付金	全史料協全国大会参加費等	53,000	42,000 (0.1%)	11,000
歳出合計				71,709,000	69,603,992 (100.0%)	2,105,008

平成25年度歳入決算



平成25年度歳出決算



Ⅳ 平成 26 年度福岡共同公文書館事業計画

平成26年度事業の基本的な考え方

福岡県及び県内市町村（福岡市と北九州市を除く）は、平成24年4月に福岡県立公文書館及び福岡県市町村公文書館をそれぞれ開設し、各自治体の歴史公文書の移管を開始した。

平成26年度は、いまだに文書移管が実施されていない自治体や機関の移管促進及び住民の利用促進を、重点的に実施するものとする。

1 受入れ・整理・保存事業

(1) 受入れ

ア 県文書

① 知事部局文書について、長期文書及び新たに保存期間の経過する有期限文書を受け入れる。

② 未だ移管されていない知事部局以外の機関からの文書移管の促進に向けて引き続き協議を行う。

※移管を受けている機関は、教育委員会、漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会のみ

③ 移管元所管への選別支援

一次選別の精度向上を図るため、各文書担当課が選別した目録に対して、目録選別支援を行うとともに選別に関する助言を行う。

イ 市町村文書

① 各自治体と調整の上、受入計画を作成し全市町村の文書を受け入れる。

② 自治体からの移管を促進するため、各自治体の文書担当課と協議を行う。

③ 行政資料について、総合計画などの計画書や広報誌については引き続き統一的な収集を行う。また、市町村史誌については、併せて編纂に用いた資料の収集を図る。

④ 移管元自治体への選別支援

一次選別の精度向上を図るため、各自治体の文書担当課等に対して、選別に係る助言及び支援を行う。

※25年度末現在で移管を受けていない市町村は、篠栗町及び桂川町の2町

(2) 整理

ア 二次選別及びデータ整備

平成25年度に移管された文書で26年度に整理を持ち越したものについて、優先的に処理を進める。

イ 選別会議の実施

保存すべき文書の決定に当たっては、選別会議を実施し、評価選別基準に基づき選別する結果において自治体間の均衡を保つ。

(3) 保存

ア 燻蒸

公文書館にて保存することが決定した文書については、文書保存庫に配架する前

に、文書に有害な害虫の殺虫・殺卵や文書の殺菌を目的として燻蒸処理を行う。

イ 文書保存庫のモニタリング

虫害の被害防止を目的として、文書が配架された文書保存庫において有害生物の生息等調査を行う。

ウ マイクロフィルム化

文字が消失しやすい感熱紙や青写真のページを50%以上含んだ文書については、他の文書に優先してマイクロフィルム撮影を行い、利用にはワーキングフィルムを用いることにより原資料を保護する。

エ 補修・製本

虫損、経年劣化等の激しい文書について、補修を実施し、簿冊としての利用に支障がある文書については、製本を実施する。

2 利用に関する事業

(1) 閲覧利用事業

ア 閲覧、複写サービス及びレファレンス

利用者に対して、利用請求等に基づき特定歴史公文書及び行政資料の提供を行い、求めに応じて複写サービスを行う。また、利用者が目的の文書を見つけられるよう、窓口や電話において照会・相談を受ける。

イ 行政利用

移管元自治体等に対して、簡易な手続により閲覧及び借覧を行う。

ウ デジタルアーカイブ

平成25年度に企画展示等において展示した文書、利用請求及び行政利用によって利用された文書等について、デジタル化を行う。

エ 資料の貸出等

収蔵資料（特定歴史公文書及び行政資料）は県内外の博物館・資料館等の展示会への貸し出しに応じるなど、積極的な活用を図る。

(2) 利用促進事業

ア 企画展示

- ① 第4回企画展のテーマは、「公文書でひもとく人々の暮らし～残された戦争の記録～」とする。

・開催期間

7月23日（水）～9月28日（日）

・趣旨

終戦から70年を経ようとしている現在、残された公文書の中から、戦争当時の人々の暮らしに関する文書を展示する。本展示を通じて戦争が人々に及ぼす影響や、平和の尊さについて改めて考える機会とすることを目的とする。

同時に、公文書が、過去を知る上で重要であり、自治体の活動の記録を将来の世代に渡って伝える上で欠かせないものであることについて、理解を広め、当館の利用普及促進を図る。

加えて、本年度は、特別展示期間（8/12～8/31）を設け、福岡県が開催する「福岡県戦時資料展」を併せて開催する。貴重な資料の展示を同時に行うことで、相乗効果を高め、内外の人々に広く訴求することとする。

（展示内容：焼夷弾、防空頭巾、鉄かぶと、千人針、日の丸寄せ書き、写真パネル等）

② 第5回企画展のテーマは「災害」とする。

1月～3月に開催予定。

イ 常設展示

4月～7月下旬、9月下旬～12月を予定

ウ 講演会

企画展示会のテーマと連携し、講演会を実施する。

エ 講座

特定歴史公文書の利用に繋がるテーマを設定し、公開講座を開催する。

必要に応じて講座終了後に施設見学会を実施するなど、公文書館について理解を深めるよう工夫する。

オ 施設見学の積極的な受入れ

施設見学を受け入れることで、公文書館や共同設置の意義を県民に浸透させる。

また、年度当初に市町村広報に施設見学に係る記事の掲載依頼を行うなど、広報に取り組む。

カ 学校教育機関や社会教育団体等との連携

社会科等の教科学習の場や総合学習（職場インタビュー・職場体験※）等で、児童又は生徒を、また、インターンシップを積極的に受け入れる等、教育機関等との連携を図る。加えて、PTA等関連団体や地縁団体等広範な組織の見学を積極的に受け入れる等、地域に開かれた公文書館の運営に努める。

※ 24年度及び25年度には、地元の筑紫野市立天拝中学校から生徒を受け入れ

キ 広報活動

年報、公文書館だよりを発刊し、公文書館の企画展示、利用状況、収蔵資料等について県民に広く周知する。また、企画展に合わせて積極的に各種メディアを通じた広報活動を行う。

3 保存等に関する調査研究等

保存、利用及び移管に関し、以下のうちから適宜優先順位を設け検討し、調査研究等に取り組む。

① 製本についての調査研究（ファイリングやドッジファイル等文書の製本）

ファイリングされた文書やドッジファイルにより保存された文書については、散逸や金具の錆等による保存文書への悪影響が懸念されることから、保存方法について、他館の状況を調査し、検討を行う。

② 保存についての調査研究（付箋やクリップ等の除去と情報保持との関係）

付箋やクリップのある文書については、付箋に使われている化学合成糊やクリップ

の錯等による、保存文書への影響を避けるため除去することが望ましいが、付箋に記載されたメモや一連の文書のまとまりを跡付けるクリップにもそれぞれの意味があることから、他館の状況などを調査し、その対応について研究する。

③ デジタル化についての調査研究（特定歴史公文書の選定、規模や手法）

利用促進の取組として、利用制限情報が掲載されておらず、なおかつ魅力的な特定歴史公文書のデジタル化とホームページ上での公開を推し進めるに当たり、参考とすべく先進他館の状況を調査し、具体的な検討を行う。

④ 利用普及活動に向けた調査及び分析

現在の1日当たり利用者数は10名程度である。今後、認知度を向上させ、利用者のすそ野を広げることを目的として、来館者を対象としたアンケート等を基に、分析を行う。

⑤ 電子文書等の移管に向けた調査

現在公文書館では、移管を受けているのは、ほとんどが紙文書（一部マイクロフィルム、写真等あり。）であるが、今後、電子文書による移管も見込まれることから、その移管の方法等について先進他館の調査を行う。

4 県及び市町村職員に対する研修会の実施

各自治体の適切な文書管理と職員の評価選別能力の向上に向け、各自治体職員に対する文書管理等に係る研修を公文書館等において実施する。

※26年度は、5月12日・13日に行政経営企画課文書班主催の担当者研修会において、公文書館や歴史公文書の選別等の内容を説明した。

また、新たな試みとして5月22日に市町村文書事務担当者を対象に、研修会を開催した。

5 専門性を持った人材の養成

本館の業務は、的確な評価選別や利用者への相談業務、調査研究業務など、広い分野の知識を有する必要があることから、当館職員の専門性の養成に当たり、国立公文書館が主催する専門職員養成課程研修等に計画的に職員を参加させる。

6 国立公文書館等類縁施設との連携・協力

国立公文書館デジタルアーカイブ※への参加を継続し、引き続き国立公文書館等類縁施設と連携を図り、利用者の利便性の向上に努める。

※国立公文書館の所蔵資料と外部機関（埼玉県、東京都、福井県、奈良県、岡山県等9機関）の所蔵資料を横断検索することができるシステム

7 運営専門協議会の開催

公文書館の運営に関して、専門的見地からの意見を求めるため、福岡県立公文書館運営専門協議会及び福岡県市町村公文書館運営専門協議会を合同開催する。

8 運営会議の開催

共同公文書館の運営に関して、県と福岡県自治振興組合と重要な事項について調整を行うため、運営会議を開催する。

開催時期については年度当初としており、平成 26 年 5 月 7 日に開催し、平成 25 年度の事業報告及び平成 26 年度事業計画説明を行った。

V 平成26年度予算

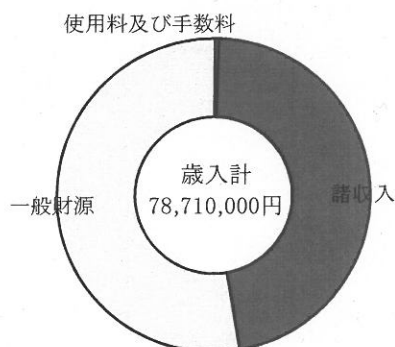
平成26年度歳入

款	項目節	節名	内容	予算額（ % ）
08使用料及び手数料	1-1-1	行政財産使用料	自動販売機、筑紫野市下水道管渠	186,000
	1-1-2	公文書館使用料	会議室・研修室使用料	119,000
	使用料及び手数料計			305,000（ 0.4% ）
14諸収入	8-2-2	雇用保険料納付金		75,000
	8-2-7	福岡県自治振興組合負担金	市町村公文書館分負担金	36,832,000
	8-2-51	雑入	公文書の複写料金	2,000
	諸収入計			36,909,000（ 46.9% ）
一般財源				41,496,000（ 52.7% ）
歳入合計				78,710,000（ 100.0% ）

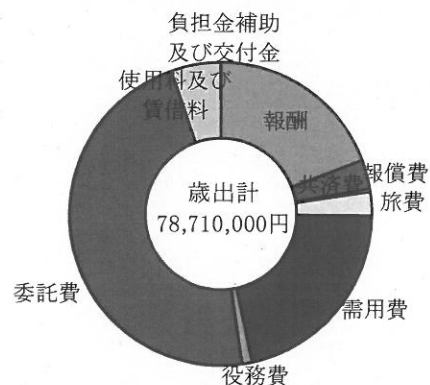
平成26年度歳出

款項目	節	節名	内容	予算額 (%)
02総務費 01総務管理費 04文書費	1	報酬	嘱託職員報酬等	15,125,000 (19.2%)
	4	共済費	嘱託職員保険料	2,455,000 (3.1%)
	8	報償費	講師謝礼等	259,000 (0.3%)
	9	旅費	アーカイブズ研修、市町村支援等	1,958,000 (2.5%)
	11	需用費	光熱水費、消耗品費、印刷製本費等	16,931,000 (21.5%)
	12	役務費	通信料、建物保険料等	829,000 (1.1%)
	13	委託費	文書運搬、製本修復、施設管理等	36,870,000 (46.8%)
	14	使用料及び賃借料	資料検索システムリース、諸機器リース等	4,241,000 (5.4%)
	19	負担金補助及び交付金	全史料協会費等	42,000 (0.1%)
歳出合計				78,710,000 (100.0%)

平成26年度歳入予算



平成26年度歳出予算



[第4回企画展展示資料及び内容]

- 1 飯塚市「昭和7年 市参事会協議録」(ID 1-2-0014528)
※満朝部隊慰問に関する件 (S12)
- 2 飯塚市「昭和12年市会事蹟」(ID 1-2-0014526)
※兵事係事務報告書(出動部隊慰問・防空演習参加日時・在満将兵の慰問等) (S12)
- 3 大牟田市「昭和12年玉川村庶務書類綴」(ID 1-2-0012557)
※「国民精神総動員中央連盟の結成にあたりて」等の小冊子
※愛国婦人会福岡県支部作成の節約を呼びかけるチラシ
- 4 大川市「昭和12~14年木室全村学校事蹟」(ID 1-2-0002251)
大川市「全村学校事蹟」(ID 1-2-0002550)
※「五ヶ年計画書」「年間行事予定表」「村民への説明リーフレット」(全村学校について)
- 5 みやま市「町村長会事蹟 昭和16年」(ID 1-2-0019532)
※「陳情に関する件」(S16) ⇒農林漁業団体統制要綱への反対
- 6 うきは市「姫治村例規綴(食糧)」(ID 1-2-0010489)
※酒・砂糖・味噌・醤油・塩・乳製品の配給統制に関する例規
- 7 飯塚市「昭和18年度事蹟」(ID 1-2-0017280)
※久留米陸軍病院宛「演芸慰問に関する件」(S18)
※配給米の節米献納書 (S18)
- 8 大川市「徴兵名簿 大川町役場」(ID 1-2-0002898)
※昭和18年10月、臨時徴兵検査など(学徒出陣)
- 9 赤村「昭和19年4月7日執行村葬事蹟」(ID 1-2-0004887)
※村葬執行計画案(日付・場所・英霊・葬儀委員・式次第)
※村葬資料(各方面からの弔辞(主に印刷物))
- 10 飯塚市「昭和20年度戦没者恩典事蹟」(ID 1-2-0017086)
※「戦没遺児に対する御下賜品伝達参拝行事に関する件依頼通牒」(S20)
- 11 大牟田市「昭和20年市参事会提出原案綴 大牟田市役所」(ID 1-2-0012631)
※柳川区裁判所大牟田出張所偽装工事施工についての陳情書、戦争災害に係わる追加
予算書
- 12 終戦の詔書(複製・守田幸夫氏寄贈分)(県からの借用)
- 13 上毛町「昭和22年 戦犯者関係綴 友枝村役場」(ID 1-2-0001588)
※在巣鴨福岡県出身者75名代表山本二郎より、宮崎唯治上毛村長にあてた手紙(巣鴨
プリズンと記載されている)
- 14 県立図書館から移管された松風園関連資料(県文書)
※戦災孤児(遺児)への対応など

太宰府市公文書館との関係について

1 設置までの経緯

太宰府市公文書館構想は、平成 8 年頃からあった。

しかし、平成 25 年 4 月までは作るか作らないかを含めて、具体的にどこに作るかなどは、まったく白紙の状態

具体化したのは、平成 25 年 5 月 水面下の動きから、唐突に話が出た。事務方も驚いている。トップダウンで指示が下りた。

その後の動きは、25 年 9 月議会で補正予算を組み、施設改修、設計し、25 年 12 月議会で条例提案、移転費用についても補正予算で組んだ。

2 太宰府市行政文書の整理状況

これまで収集してきた市史編纂に関する資料は整理済み

平成 5 年から内部で選別してきた行政文書は、未整理の状態

数量としては、段ボール箱にして 3,000 箱、現在は市内各所に分散して保存

この 3,000 箱は基準外も含めて多めに保存している文書であるので、今後これをまず 900 箱に選別（1.5 次選別）し、最終的に 150～300 箱に選別（2 次選別）する予定である。そうした上で、目録を作成して、保存庫に配架した上で、利用に供することとなる。1.5 次選別が終了するのは本年度か来年度になり、利用に供するようになるにはまだしばらく時間を要する。

太宰府市としては、これまで共同公文書館に提供してきた予算書、決算書、議会議事録等は、今後も提供する。

行政文書の原義は、太宰府市の歴史を語る上では、必須のものであり、太宰府市公文書館で保存

3 太宰府市公文書館の施設（保存庫等）の現状（26 年 4 月 17 日見学）

文書保存庫 面積 100 m² 書架延長 900m

（幅 45 cm の段ボール箱、2,000 箱程度の収蔵スペース）

なお、市史編纂に関する資料を保存するスペースは別途あり。

そのほか、展示スペースは設けていない。閲覧室のスペースも、多人数の閲覧には対応できない。

4 今後の方向性

太宰府市公文書館は、現在、文書整理中であり、本格稼働まで時間を要することから、その整理状況等を見ながら今後こういった連携ができるか検討していきたい。

平成 26 年度第 1 回福岡県立公文書館運営専門協議会
平成 26 年度第 1 回福岡県市町村公文書館運営専門協議会

平成 26 年 7 月 17 日（木）午後 2 時～
福岡共同公文書館 2 階会議室

次 第

進行（佐藤副館長）

1 開会

挨拶（小原館長）

2 議事（議事進行 大濱会長）

（1）平成 25 年度事業報告及び決算について

（2）平成 26 年度事業計画及び予算について

（3）その他

事務局から（1）平成 25 年度事業報告及び決算について及び（2）平成 26 年度事業計画及び予算について並びに（3）その他（太宰府市公文書館との関係について）について報告及び提案を行い、協議の結果、了承を得た。

3 その他

4 閉会